



緑小よんかけ

- 心をかける    ○目をかける
- 手をかける    ○声をかける



### 平成31年度に向けての児童会選挙終わる！

校長 棚澤 実

2月21日（木）6校時目に平成31年度に向けての緑丘小学校児童会役員選挙が行われました。候補者はステージで1人1人自分の考えを演説し（立候補者全員しっかりと演説できていました）、その後、3年生から5年生までの児童による投票が行われました。

次の児童が来年度の役員となります。

- 会 長 三好 空（5年生）
- 副会長 芳田 惟織（5年生）
- 副会長 大島 一太（4年生）
- 書 記 矢田琉羽空（5年生）
- 書 記 大澤 美音（4年生）

よろしくお願ひします。

残念ながら、役員に選ばれなかった皆さんも、違う形で貢献を期待していますよ。

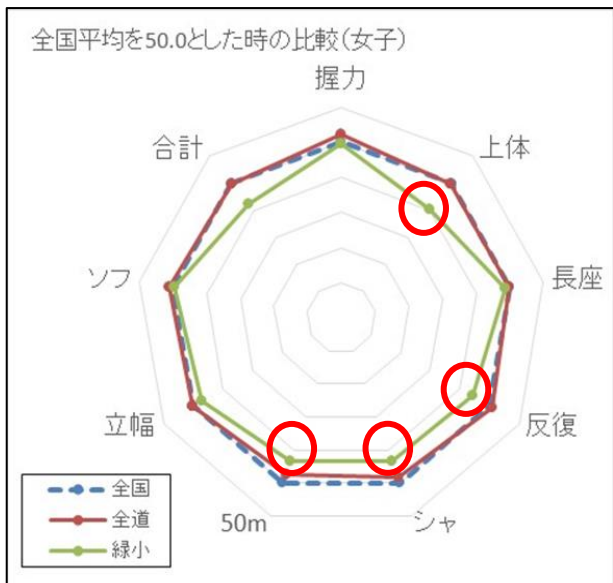
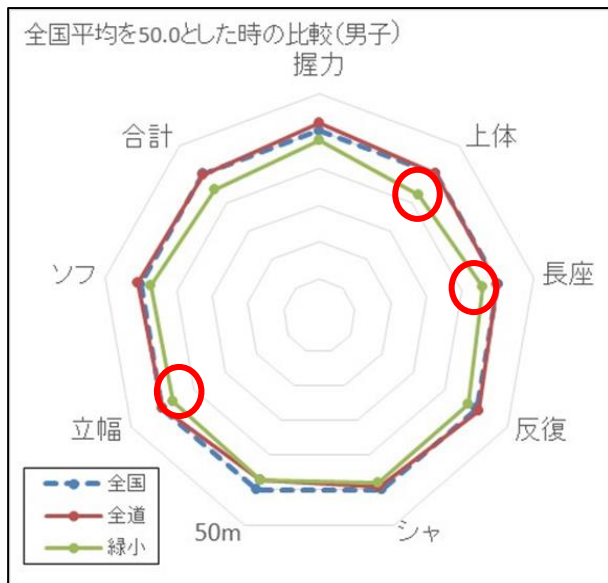


### 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から

全国の小学校5年生を対象として、本年1学期に行いました全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果や分析された傾向につきまして、先日新聞等でも公表されました。つきましては、本校の結果や傾向についてお知らせします。

体力テストの種目は、以下の8種目です。

体力テスト種目		単 位	体力要素	測 定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④	反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤	20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
⑥	50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦	立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧	ソフトボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離



◎ 体力合計

男女いずれも全国平均を下回っていました。

○ 各種目の結果について

- ・全国・全道平均ほぼ同じ種目は、男子は「握力」「反復横跳び」「シャトルラン」で女子は「握力」、「長座体前屈」「ソフトボール投げ」でした。
- ・男女ともに課題となった種目は「上体そらし」（筋パワー・筋持久力）でした。
- ・その他、男子では「長座体前屈」及び「立ち幅跳び」が、女子では「反復横跳び」「シャトルラン」「50m走」が課題の種目という結果でした。（赤い○印の部分）

◎ 児童質問紙の結果について

- ・「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きですか？」に対する回答の割合は、男子が「好き」と「やや好き」を合わせて97.7%で全国の93.0%より高いですが、女子は「好き」と「やや好き」を合わせて81.8%で全国の86.4%より低い結果でした。2割弱の女子児童が「ややきらい」あるいは「きらい」という結果でした。
- ・「朝食は毎日食べますか（学校が休みの日もふくむ）？」に対する回答の割合は、男子が57.1%、女子が68.8%であり、全国の各83.0%と83.4%、また、全道の各79.1%と77.7%より低い結果でした。
- ・「1日平均、どのくらいテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ているか？」に対する回答の割合は、3時間以上見ているが、男子で56.1%、女子が33.4%であり、全国の各38.1%と29.1%より高い結果でした。
- ・体育の授業について、「体育の授業は楽しいですか？」に対する回答の割合は、「楽しい」と「やや楽しい」を合わせて、男子が97.6%で、女子が90.9%であり、男子では全国の94.6%より高く、女子では全国の90.7%とほぼ同じ結果でした。

\*男女ともに課題であった「上体そらし」ですが、これは、お腹の筋肉がどれくらい強いかを測ることにより、力強さと動きを続ける力が分かるということで、良い筋肉の条件は力の大きさだけでなく、長い時間力を出し続けることが出来るかどうかにも関係します。体の真ん中にあるお腹の筋肉は、体全体を支える大切な筋肉で、走ったりボールを投げたりする時にも必要です。例えば「50m走」で走っているときフラフラせずに走ることができる、鉄棒で逆上がりするとき、足が上がるようになる、体づくり運動でよく行う縄跳びがしっかりできるようになるための取組等に、今後も力を入れていきたいと考えています。

\*また、体育の授業を活かして「運動が好き」と感じるような取組の充実を図るとともに、朝食をとることの大切さ、また、特に割合の高かったTV、DVD、PC等の3時間以上視聴につきましては、学校で引き続き様々な機会に触れ考えさせながら指導していきますので、ご家庭でも話し合うなどして、見直す機会としていただければと思います。今後とも、どうぞご理解、ご協力をよろしくお願い致します。